

報 告 書

開催日時	平成28年5月11日（水）午後7時00分 ～ 午後8時30分	
開催場所	小友ふるさとセンター（小友）	
出席議員	挨拶(班長)	大坪涼子
	司 会	菅原 悟
	報 告 者	鵜浦昌也
	記 録	三井俊介
	議 員	伊藤明彦
参加人数	8名	
主な要望 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の歳入については、特別会計は含まれないのか。復興交付金はいくらなのか。将来的なことを考えたいので、震災がなかった場合の歳入歳出を知りたい。バランスは大丈夫なのか。財政再建団体とならないのか。市民税や法人税が増えているのか、自主財源の増減についても知りたい。 ・ 年間100人しか子どもが生まれていない。この子たちが高校生になる時はどうなるのか、この町で何ができるのかを本気で考えて欲しい。 ・ 人作りに対して、どう考えているのか、聞かなければわからないということではなく、わかりやすくまとめてある資料がほしい。一般市民でもわかるようにしてほしい。 ・ 「まち・ひと・しごと総合戦略」で約4,000万円の予算が計上されているが、足りるのか。ソフト面での予算が少ないと感じる。 ・ 自然と共に暮らしたいと思う若者が増えている。そういう人をさらに増やし、また外からの人が定着できるような取り組みをしたい。移住者への金銭的な支援や住む場所の支援などを考えていないのか。新しい人を呼び込むことや、住む人を増やすことに資金を使っ て欲しい。 ・ 暮らしやすい町作りという言葉はよく言われるが、どうやってそれを実現するのかがわからない。わかりやすく提示してほしい。 ・ 空き家バンクの計画もあるようだが、中身が特徴的でないと他地域に勝てないのではないか。他の地域でも取り組んでいることなので、中身を知りたい。 ・ ふるさと納税について、他自治体では赤字となっているところもあ 	

るようだが、そうならないように注意してほしい。また第一次産業を営む末端生産者にも利益がでるような仕組みにならないものなのだろうか。

- 公共施設の数と規模は、今後の人口減少に対して適切なものか。将来的に維持費などをどこから確保していくのか。
- 体育館の用地獲得は震災の翌年だった。定住促進を第一で考えるのであれば、高台移転の土地を最優先で確保すべきだったのではないか。
- 小友小学校は被災したが、復興交付金を使えないのはなぜか。請願を受理されたようだが、その後の報告はないのか。誰がその後責任をもって経緯報告するのか。しっかりと議論して、実現できる手段を探していきたいと思っている。実現できる方法を提示してほしい。一緒に探して欲しい。
- 来る先生は常に子どもたちの避難を考えていなければならない。先生もそういう学校に来たいと思えるのか。子どもたちの安全、命をしっかり守れるのかを心配している。
- 請願には「子どもたちの命を守りたい」という思いが詰まっている。その思いをしっかりと受け止めて欲しい。請願が受理されたからこそ、次につなげていきたいと思っている。
- 「たかたのゆめ」であるが、地域の食堂で使用し、地域の人に食べていただきたいと考えているがそのような取り組みはないのか。地域の飲食店への導入を支援できないのか。またそれ以外にも新鮮な海産物を地域の飲食店で食べられる場所を増やして欲しい。
- 農業や漁業などの参入の障壁を撤廃することで、外からの人も第一次産業に従事しやすくなるのではないか。高田独自の規制緩和や特区などの申請できないのか。
- 第一次産業の担い手は自分たちの息子だけでなく、「外から来てもいいよ」というメッセージを明確に打ち出していくべきではないか。
- 地域おこし協力隊のような制度があるのであれば、そういう情報をしっかりと開示してほしい。タイアップできる可能性が大いにあると感じた。
- 外部からの人を採用したいという思いもあるが、住む場所がないという問題もある。災害公営住宅が空いているのであれば、そこに入居できるように融通をきかせてほしい。空いているのであれば、お金にもなるのだし、貸出できるようにしてほしい。
- 一次産業の衰えは、国力の衰えになるから、一次産業の再生に力を入れて欲しい。

- | | |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none">・ ここにいる人、地元出身者の若者が離れないような施策も必要なのではないか。・ 子ども一人産むのに 50 万円かかるっていうのはとても大変なこと。どうにか支援できる方法はないのか。 |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 藤 倉 泰 治 様

平成 28 年 6 月 10 日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

平成 28 年議会報告会 2 班

班 長 大 坪 涼 子 ⑩